

こんにちは婦人会「さくら」です

7月も半ばを過ぎて、鬱陶しい梅雨明けも間近ですね。暑い夏へと季節は変わろうとしています。この気温の変化についていけなくて、編集人は少々夏バテ気味で、土用の丑の日には早かったですが、ウナギを食べてしまいました。夏バテには、栄養と、休養が必要だそうです。これから暑い季節を迎えますゆえ、ご自愛くださいませ。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

夏はお祭りの季節です。「ロッカドー」の呼び名で親しまれている「六月灯」のご紹介です。

六月灯とは、鹿児島県の神社や寺院で行われる

お祭りで、七月に入ると、神社や寺院で、毎晩のように市内の数か所で催され、月末まで続くそうです。由来は、島津19代藩主光久が、上山寺新照院観音堂を造立して参詣した際、沢山の燈ろうをつけさせたので、だん家でもこれにならって燈ろうを寄進したのが始まりといわれています。旧薩摩藩領だった地域で行われるお祭りは、社寺の風情と燈ろうが放つ柔らかな光。長い歴史を持つ六月灯は、鹿児島の夏の風物詩として受け継がれ、今も多くの人で賑わっているそうです。この燈ろうは、地元の子供会や商店街の人達による手作りだそうですよ。

行ってみたいですねー（インターネットより引用）



婦人会「さくら」
平成26年7月23日
第150号